

ご意見・ご質問	回答																																									
<p>【特定健診の受診率について】 60代以降、生活習慣病の有病者、医療とも大きな増加がみられるが、特定健診の受診者数（率）、結果はどうなっているか。</p>	<p>令和5年度の特定健診受診状況(全受診者)は、全受診者数は9,813人、40歳代854人(受診率20.5%)、50歳代1,077人(受診率22.0%)、60歳代3,556人(37.7%)、70歳代4,326人(41.7%)となっており、50歳代までの年代と比較すると60歳代以降の特定健診受診者が数・率ともに高い傾向にあります。</p> <p>また、特定健診受診者の結果として年代別の有所見者割合(受診勧奨判定値以上)を比較すると、60歳以上の年代の傾向としてHbA1cや収縮期血圧で医療機関受診勧奨判定値となる割合が高い状況です。</p> <div style="text-align: center;"> <p>受診勧奨判定値以上の年代別割合</p> <table border="1" data-bbox="1294 507 2132 730"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年代</th> <th>基準値</th> <th>中性脂肪</th> <th>HbA1c</th> <th>収縮期血圧</th> <th>拡張期血圧</th> <th>LDL</th> </tr> <tr> <th></th> <th>300mg/dl</th> <th>6.5%以上</th> <th>140mmHg 以上</th> <th>90mmHg以上</th> <th>140mg/dl</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40代</td> <td></td> <td>4.2%</td> <td>3.0%</td> <td>5.5%</td> <td>8.2%</td> <td>23.3%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td></td> <td>3.3%</td> <td>6.7%</td> <td>12.7%</td> <td>12.2%</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td></td> <td>2.5%</td> <td>11.3%</td> <td>17.1%</td> <td>8.3%</td> <td>28.1%</td> </tr> <tr> <td>70-74</td> <td></td> <td>1.6%</td> <td>15.3%</td> <td>21.8%</td> <td>7.4%</td> <td>22.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(佐賀市保険年金課調べ)</p> </div>	年代	基準値	中性脂肪	HbA1c	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL		300mg/dl	6.5%以上	140mmHg 以上	90mmHg以上	140mg/dl	40代		4.2%	3.0%	5.5%	8.2%	23.3%	50代		3.3%	6.7%	12.7%	12.2%	31.5%	60代		2.5%	11.3%	17.1%	8.3%	28.1%	70-74		1.6%	15.3%	21.8%	7.4%	22.7%
年代	基準値		中性脂肪	HbA1c	収縮期血圧	拡張期血圧	LDL																																			
		300mg/dl	6.5%以上	140mmHg 以上	90mmHg以上	140mg/dl																																				
40代		4.2%	3.0%	5.5%	8.2%	23.3%																																				
50代		3.3%	6.7%	12.7%	12.2%	31.5%																																				
60代		2.5%	11.3%	17.1%	8.3%	28.1%																																				
70-74		1.6%	15.3%	21.8%	7.4%	22.7%																																				
<p>【医療機関との連携について】 生活習慣病の重症化防止は大きなキーになると思うが、その実態を知りたい。</p>	<p>市医師会と年3回程度会議を開催し、生活習慣病重症化予防の事業実施や連携体制等について意見交換を行い、共通認識のもと地域全体の体制構築を図っています。</p> <p>また、個々の事例では、「佐賀県糖尿病連携手帳」を利用して、医療機関をはじめ関係機関との情報共有を行い、必要に応じて医療機関への同伴、電話等での連絡調整を実施しています。</p>																																									
<p>【がんの受診行動について】 将来は2人に1人の発病と言われているが、現在の医療に結びついている人達は検診での発見か、症状があつての受診行動なのか知りたい。</p>	<p>当課が保有する情報等から、がんの治療を受けられている方の医療機関受診の契機を把握することは難しい状況です。</p> <p>しかしながら、医療費に占める「新生物(がん)」の割合も高いことから、特定健診の受診と共にがん検診の受診についても勧奨を行い、がんの早期発見・治療につながるよう努めたいと考えています。</p>																																									